

『川那部生態学に学ぶ』正誤表

2022年6月7日現在

本書に下記の通り誤りがございました。ここにお詫びし、訂正いたします。

ページ	行	誤の項	正の項
3	図説明	琵琶湖 670 Km <sup>3</sup> 27.5 Km <sup>3</sup>	670 km <sup>2</sup> 27.5 km <sup>3</sup>
同	図説明	霞ヶ浦 168 Km <sup>3</sup> 0.6 Km <sup>3</sup>	168 km <sup>2</sup> 0.6 km <sup>3</sup>
同	図説明	支笏湖 78 Km <sup>3</sup> 20.8 Km <sup>3</sup>	78 km <sup>2</sup> 20.8 km <sup>3</sup>
16	図説明	岩隈敏夫	岩熊敏夫
29	7行目	その後研究所	その後研究所に
42	7行目	お思います	思います
62	左から4行目	襲われる川の魚	襲われる側の魚
69	2行目	国連教育機関	国連教育科学文化機関
同	左から1行目	石川農業大学	石川県立大学
87	7行目	始まります	始まる
115	文献(19)	(石川淳(1952))	(石川淳(1957))